

土壌の汚染に係る環境基準（溶出基準及び農用地基準）

項目	環境上の条件 (mg/L)
四塩化炭素	0.002 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下
ジクロロメタン	0.02 以下
テトラクロロエチレン	0.01 以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下
トリクロロエチレン	0.03 以下
ベンゼン	0.01 以下
1,4-ジメチル※	0.05 以下
塩化ビニルモノマー※	0.002 以下
カドミウム	0.01 以下 農用地は、米 1 kg につき 0.4 mg 以下
六価クロム	0.05 以下
全シアン	検出されないこと
総水銀	0.0005 以下
アルキル水銀	検出されないこと
セレン	0.01 以下
鉛	0.01 以下
砒素	0.01 以下 農用地（田に限る。）は、土壌 1 kg につき 15mg 未満
フッ素	0.8 以下
ほう素	1 以下
シマジン	0.003 以下
チウラム	0.006 以下
チオベンカルブ	0.02 以下
PCB	検出されないこと
有機りん	検出されないこと
銅	農用地（田に限る。）は、土壌 1 kg につき 125mg 未満

○土壌の汚染に係る環境基準

人の健康を保護し、及び生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準

※1,4-ジメチル及び塩化ビニルモノマーは、中央環境審議会第2次答申を踏まえて追記（今後、環境基本法に基づく告示が改正され、その1年後に施行される予定）

土壌の汚染の状態に係る基準等

特定有害物質の名称		土壌溶出量基準 (mg/L)	土壌含有量基準 (mg/kg)	地下水基準 (mg/L)	第二溶出量基準 (mg/L)
第一種特定有害物質 (揮発性有機化合物)	四塩化炭素	0.002 以下	—	0.002 以下	0.02 以下
	1,2-ジクロロエタン	0.004 以下	—	0.004 以下	0.04 以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	—	0.1 以下	1 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	—	0.04 以下	0.4 以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.002 以下	—	0.002 以下	0.02 以下
	ジクロロメタン	0.02 以下	—	0.02 以下	0.2 以下
	テトラクロロエチレン	0.01 以下	—	0.01 以下	0.1 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	—	1 以下	1 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 以下	—	0.006 以下	0.006 以下
	トリクロロエチレン	0.03 以下	—	0.03 以下	0.3 以下
	ベンゼン	0.01 以下	—	0.01 以下	0.1 以下
	塩化ビニルモノマー※	0.002 以下	—	0.002 以下	0.02 以下
第二種特定有害物質 (重金属等)	カドミウム及びその化合物	0.01 以下	150 以下	0.01 以下	0.3 以下
	六価クロム化合物	0.05 以下	250 以下	0.05 以下	1.5 以下
	シアン化合物	検出されないこと	50 以下(遊離シアンとして)	検出されないこと	1 以下
	水銀及びその化合物	水銀が0.0005 以下、 メチル水銀が 検出されないこと	15 以下	水銀が0.0005 以下、 メチル水銀が 検出されないこと	水銀が0.005 以下、 メチル水銀が 検出されないこと
	セレン及びその化合物	0.01 以下	150 以下	0.01 以下	0.3 以下
	鉛及びその化合物	0.01 以下	150 以下	0.01 以下	0.3 以下
	砒素及びその化合物	0.01 以下	150 以下	0.01 以下	0.3 以下
	ふっ素及びその化合物	0.8 以下	4,000 以下	0.8 以下	24 以下
第三種特定有害物質 (農薬等)	シマジン	0.003 以下	—	0.003 以下	0.03 以下
	チウラム	0.006 以下	—	0.006 以下	0.06 以下
	チオベンカルブ	0.02 以下	—	0.02 以下	0.2 以下
	PCB	検出されないこと	—	検出されないこと	0.003 以下
	有機りん化合物	検出されないこと	—	検出されないこと	1 以下

○ 土壌溶出量基準

汚染土壌から特定有害物質が地下水に溶出し、その地下水を飲用することによる健康影響を考慮して設定

○ 土壌含有量基準

汚染土壌を直接摂取することによる健康影響を考慮して設定

○ 地下水基準

地下水を飲用することによる健康影響を考慮して設定

○ 第二溶出量基準

措置を講じる際に、一定の制限がなされる基準

(例: 「原位置封じ込め」を実施する際は、第二溶出量基準に適合させた上で施工する。)

※塩化ビニルモノマーは、中央環境審議会第2次答申を踏まえて追記(今後、土壌汚染対策法施行令及び規則が改正され、その1年後に土壌環境基準と同日で施行される予定)